

事業名 CD	0104010360	小水力発電推進事業
細分化した事業名		小水力発電推進事業
事業担当課室 CD	200100	市民課
		整理コード*

〈事務事業の位置づけ〉

第5次長期総合計画での目的体系	大項目	自然を活かし、自然にやさしいまちづくりの推進	
	中項目	資源循環型社会の構築	
	小項目	0	
関連する個別計画等	環境基本計画	根拠条例等	葦崎市環境基本条例
関連する事業			

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	クリーンエネルギー導入に当り市内の農業用水路を利用した小水力発電の可能性を探り、具体的な方向性を明示し、導入について具体的に検討する。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	徳島堰 朝穂堰 海老島用水
これまでの改善経過	
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 ■市 ■委託 □補助金 □その他(□)) 調査対象水路について専門業者に委託し設置可能地点、発電量、施設の概要等詳細な調査を行うと共に、検討委員会において総合評価を行う。 市民啓発としてワークショップ及びセミナーの開催
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	循環型社会構築の手段としての小水力発電所建設の基礎資料とする。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度	
A	事業費 (千円)			5,289	
財源内訳	国庫支出金			5,267	
	県支出金				
	市債				
	その他				
	一般財源			22	
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)			0.54	
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	0	0	3,684	
D	総事業費(A+C) (千円)	0	0	8,973	
* 参考		H21)市民1人当りの事業コスト	280 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用	579,596 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分かりやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	検討委員会の開催	(回)			4
	ワークショップの開催	(回)			1
	セミナーの開催	(回)			1
	調査対象農業用水路	(箇所)			3
成果指標	開催回数	(回)			5
	ワークショップ参加者数及び参加率	参加者 40 人/定員 40 人			40 人 100%
	セミナー参加者数及び参加率	参加者 210 人/定員 300 人			210 人 70%
	調査箇所	(箇所)			5 (6パターン)
効率指標	一箇所当たりの調査費用	委託費 4845 千円/6パターン			807 千円

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 調査については、専門的であるため知識をもった専門業者への委託は妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 小水力発電施設の設置についての可能性及び問題点等具体的な検討が行われた。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 調査を専門業者に委託することにより効率的である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか) (1) 中長期的 自然エネルギーを利用した小水力発電施設を建設し循環型社会構築を目指す	(2) 23 年度 設置効果の検証	(3) 22 年度 調査結果を踏まえ他の事業による小水力発電所の設置
	21 年度の改善計画		
	21 年度の改善結果		
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 施設の維持管理、運営について			
課長所見	設置については、利用目的による担当課の設置となるが、設置に関して協力するものとし設置後の検証を行うこと。		